

パートナー企業



ペルモビール株式会社



第一三共株式会社



CONTROL BIONICS



湘南/大分/鈴鹿ロボケアセンター株式会社



特定非営利活動法人 ASrid

Indigo Blue.

IndigoBlue

MCDecaux

エムシードウコー株式会社

※パートナー企業とは、財団と協働して各種活動を展開、あるいは企画している企業を指しており、寄付をいただいている企業ではありません。

P-ALS
FUTURE OF HUMANITY INSTITUTE



一般財団法人
すこやかさ ゆたかさの未来研究所

連絡先

住所：〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3

トラストタワー本館20階

Tel : 090-2629-9344

e-mail : info@p-als.com

財団ポータルサイトURL : <https://p-als.com>



よりそう ささえる のりこえる

Passion for ALS



一般財団法人
すこやかさ ゆたかさの未来研究所

財団概要



畠中 一郎 プロフィール

1958年生まれ。
早稲田大学政治経済学部卒業後、1983年JETRO（日本貿易振興機構）入社。フランス、ザイル（現コンゴ民主共和国）、ベルギーなどに駐在。
JETRO退職後、ハーバードビジネススクールに自費留学、MBA（経営学修士）取得。帰国後、野村総研、アクセンチュア、PwCでコンサルタントとして新規事業・市場開拓、M&A、事業再生に従事。2006年独立し、国内外企業のトップとして企業経営に直接関与、業務改善、組織改編、M&Aなど陣頭指揮を執って取り組んでいる。



ALS患者・家族、そして高齢者に希望を

すこやかさ ゆたかさの未来研究所代表理事

畠中 一郎 ごあいさつ

当財団への共感とご支援に心から感謝申し上げます。

「すこやかさ ゆたかさの未来研究所」は、私がALS（筋萎縮性側索硬化症）と診断された2021年夏に設立計画をスタート、1年後の2022年8月に一般財団法人として認可を受けました。ALSという病気は、徐々に全身の筋肉が動かせなくなり、最終的に死に至る病です。発症のメカニズムは解明されておらず、治療方法も確立されていないため、現状では麻痺の進行を遅らせる対処療法を行なうに留まっています。身体機能を失う患者本人の不安に加え、介護する家族の困難が大きいこともこの病の特徴です。

私たちは、近年の医療分野の進歩に加え、最先端技術の活用や畠中が長く取り組んできた、事業の機動的な仕組み作りを活かすことで、患者さんやご家族を様々な形でサポートし、ポジティブに闘病に向かう環境づくりができるのではないかと考えました。そしてこの試みは、高齢に伴う身体の不具合を抱えながら生活する多くの人々にとっても、希望を与えるものと思っています。当財団は、病気であっても、高齢であっても真のゆたかさを求める人たちと共に、継続的に活動を展開してまいります。財団活動への皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。ぜひとも私たちの活動に「翼」を備えてください。

そして高齢者に希望を



ALSという病や患者さん・ご家族の状況を知らせるため講演、啓蒙活動を積極的に行なっています



あなたの力を財団で生かしてみませんか？

財団には様々なスキルや情熱を持ったメンバーが参加し、より充実した活動を目指して効率的なミーティングを重ねています。今後は財団組織の補強、広報、患者さんに寄り添う活動にさらに力を入れたいと、ご関心をお持ちの方はぜひお知らせください。短期、期間限定の参加も歓迎です。

お問い合わせは財団サイトの窓口からどうぞ

■財団ポータルサイトURL
<https://p-als.com>

財団へのご寄付について

当財団は現在官庁、特定団体等には属しておらず、思いのある個人、企業からの寄付によって活動を行なっています。より行き届いた支援を一人でも多くの患者さんやご家族に届けるため、財団資金へのご寄付をお願いできれば幸いです。



送金先

■口座名義
一般財団法人すこやかさ ゆたかさの未来研究所

■口座
三井住友銀行 東京中央支店 (015)
普通 9568072

今までになかったポジティブな発想で病む人と支える人をつなげたい

財団はこんな活動をしています！

■よりそう

治療法のない難病と診断された患者さんやご家族の、寄り添う気持ちに患者として寄り添います。ご連絡をいただければ、可能な限り代表の畠中がすぐ訪問し、患者特有の気持ちを共有します。顔を合わせふれ合うことでメールやネットにはない安心感や連帯感が得られ、共に歩む気力が湧いてくると喜んでいただいています。

■ささえる

闘病の困難を軽減する補助器具やサービスに関する情報を、世界中から集めて患者さんに提供します。実際に活用していただくためのお手伝いもしています。一方、患者さんを支える既存の様々な制度について、必要に応じてその改善に向けた提言なども行っています。

事業例：「電動車いすレンタル事業支援プロジェクト」「視線入力会話補助装置 Hello Chatty開発プロジェクト」

■のりこえる

難病に伴う絶望は、患者自らが希望を創り出すことにより乗り越えられると信じ、生きることの喜びや価値を取り戻せるような活動、芸術、イベント等を展開、紹介しています。またALSに関する一般の理解を助け、共に歩んでいただく仕組みを作り出そうとしています。

事業例：「フランスのALS患者オリビエ・ゴア氏のドキュメンタリー映画『不屈の夏』試写会・映画会開催」「チャリティコンサート開催」「企業・団体向け講演」「シンポジウム、リモート座談会開催」「財団HPでの『ALS専門情報』『ALS世界ニュース』提供」

さまざまな分野の方から応援をいただいています！

- 赤松 武 国際民間航空機関日本政府代表部特命全権大使（在カナダ）
- 入船亭 扇好 落語家
- ウェイン・マークマン 医師（在オーストラリア）
- 太田 守武 医師（NPO法人Smile & Hope代表）
- 桐ヶ谷 覚 逗子市長
- 菊池 尚 逗子菊池タクシー株式会社代表取締役
- 玄 真琴 逗子葉山経済新聞編集長
- 小宮山 剛 日本キリスト教団逗子教会牧師
- 笹野 和泉 アルマーニジャパン社長
- 塩川 哲也 学校法人至善館理事
- 諏訪 洋子 株式会社SGグローバルリンク代表取締役
- 高橋 壮介 弁護士
- 武田 貴裕 千葉東病院医師
- 田中 法瑞 久留米大学医学部教授
- ダニエル・マルタン フランス料理シェフ
- 筒井 裕 湘南ワインスタイル代表
- 堂免 綾 弁護士
- 戸田 隆夫 JICA元理事
- 西村 由希子 ASrid理事長
- 根本 直子 早稲田大学ビジネススクール教授
- 野田 由美子 ヴェオリアジャパン代表取締役会長
- 袴田 武史 ispace, inc. CEO
- 原田 誠司 公認会計士
- ピーター・フォード CONTROL BIONICS CEO
- 平田 雅之 大阪大学大学院医学系研究科特任教授
- 深川 由起子 早稲田大学政経学部教授
- 前田 茂樹 元キルギス国日本特命全権大使
- 松下 和彦 ベルモビル株式会社社長
- 武藤 将胤 WITH ALS代表
- 村松 邦彦 株式会社主婦の友社元社長
- 村山 二朗 篠笛奏者
- 山科 誠 株式会社バンダイ元社長
- 山本 理 報知新聞東京支社編集局長
- 湯浅 資之 順天堂大学国際教養学部教授
- 由衛 辰寿 朝日新聞パーソナルメディア主査